連合福島スポット情報

連合福島

714 号　　2022 年 12 月 6 日　発行　福島市仲間町 4-8　連合福島　組織広報局

『連合アクション！街頭行動』の取り組み

働き方改革の推進、格差是正、過労死防止啓発に取組む

挨拶する澤田精一連合福島会長

連合福島は、12月1日（木）の17：30より福島駅東口エスタビル前において「連合アクション街頭行動」を実施した。

年末を控え、収束が見えないコロナ感染拡大の影響や混乱する経済状況に伴い悪化する労働環境を踏まえ、働き方改革の推進、格差是正、そして11月の過労死防止啓発月間を踏まえての取り組みとなった。

特に長時間労働是正をアピールしながら、「なんでも労働相談ダイヤル」「メンタルカウンセリング」の周知と浸透に努めた。今回も、コロナ感染防止も踏まえ必要最低限の参加人数に絞り、福島地区連合役員の協力も得て取り組んだ。

冒頭、連合福島を代表し澤田精一会長は、『年末を迎え、エネルギーや原材料価格の高騰が、新型コロナウイルスに疲弊する私たちの生活に追い打ちをかけている。日本の社会的セーフティーネットの脆弱さ、そして不安定雇用、貧困の格差拡大も相まって、弱い立場に置かれている人々ほど、今苦しんでいる。日本の雇用、生活、経済の構造的な課題の解決は待ったなしの状態である。私たち連合は、政府、自治体に対して生活に困難を抱えている人への支援、雇用と生活のセーフティーネットの充実・強化、子育てに関わる負担の軽減など、生活において人々を守る政策の早急且つ着実な実行を求めている。

取り組みアピールをする菅井議長

歴史的な円安の影響が続く中、このまま物価上昇と景気後退が同時に進む事態は、雇用と生活を守るために何としても避けなければならい。社会経済が大きな分岐点に差し掛かる中、すべての働く人の賃金を引き上げ、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正配分や、価格転嫁の徹底などにより、デフレマインドを払拭し、経済の自立的成長と分配の好循環を作り上げる必要がある。今こそ、社会全体で行動する時になった。

こうした中、私たち連合は、本日2023春季生活闘争方針を確立・決定した。今年の春闘は、未来づくり春闘を深化させ、経済の後追いでなく、経済社会の原動力となる、人への投資をより積極的に行う必要がある。

感染対策をしチラシを配布

連合福島は社会経済のステージを変える転換点とするけん引役として、歴史のターニングポイントとなる強い決意で、未来づくり春闘を推し進めていく』と挨拶した。

最後に、福島地区連合・菅井謙一議長より連合福島の取り組みアピールをし、街頭行動を打ち上げた。街頭では、感染防止上から十分なソーシャルディスタンスを確保、ビニール手袋をしてチラシを配るなど通行される市民に訴えた。立ち止まって聴講される方もあり、関心の高さが感じられた。